

アナタはどこで聞く？

お気に入りの座席を
見つけよう！



臨場感たっぷり！

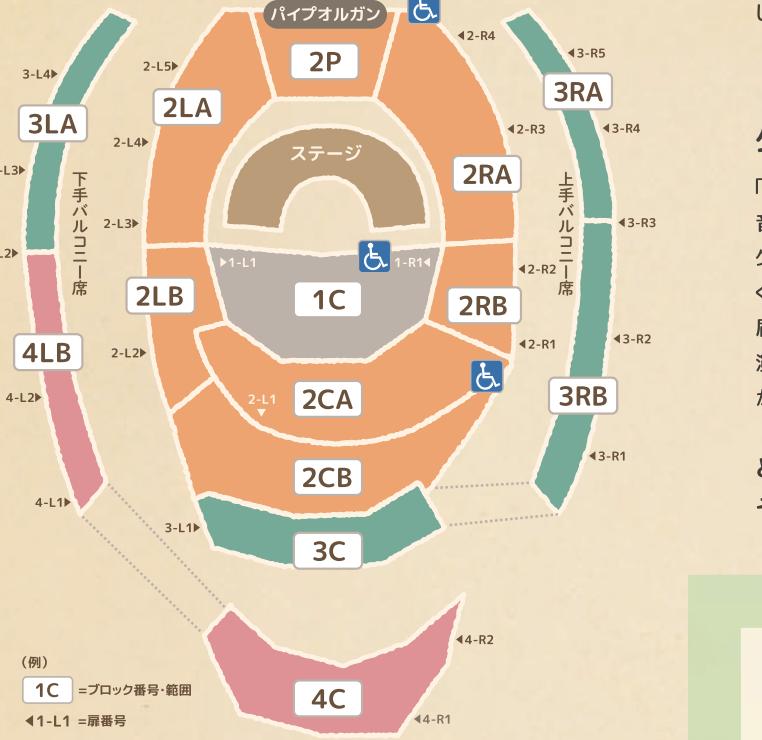
ステージの周りは演奏者と目が合いそうなほど
近くに感じる席です。自分のために弾いてくれて
いるのかしら？ そんな気さえしてきます。

2階席ですらステージを
近くに感じることが
できることに驚か
れるのではないで
しょうか。



「臨場感」と「クリアな音質」。

ミューザ川崎シンフォニーホールの特徴は



ミューザ川崎シンフォニーホールはステージの周りを
客席がぐるりと取り囲む「ヴィンヤード（ぶどう畠）」
形式です。どの客席からでも、美しい音が聴けるよう
設計されていますが、場所によってそれぞれ見え方や
聴こえ方が異なります。

開館 2004年7月1日(木)
座席数 1997席(車椅子席10席含む) ※立ち見席なし

1C



席に座ったときの視線がステージ上の演奏者たちと同じくらいであり、
音楽のパワーや多彩な音色などがダイレクトに味わえるブロック。
前列では演奏者と目が合いそうなほどで、表情や動作などもつぶさに
見ることができるでしょう。ステージが低めのミューザならではです。

2CA



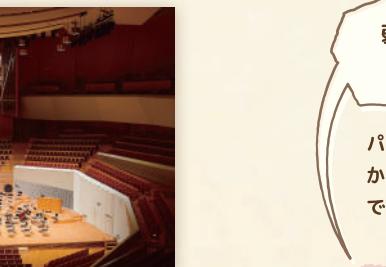
ステージとの距離はとても近く、間近でオーケストラを見渡すことが
できる上、音楽の細部まで聴きとれるはず。ピアノ・リサイタルでしたら、
楽器の中から広がる音がダイレクトに届き、音の強弱や繊細な表情
などもしっかりと感じ取ることができます。

2CB



ステージ全体をひと目で見渡せる席であり、音のバランスも申し分
なく、左右に広がるオーケストラのサウンドを堪能できます。ピアノ・
リサイタルでも同様に、豊かな響きを味わえます。写真でご覧いただ
くより、意外に近いことを実感していただけるでしょう。

3C



正面席ですので音のバランスは完璧。ステージからの適度な距離に
よってステージの上にある反響板からの残響音が加えられ、オーケス
トラ全体がまとまって聞こえます。他のホールでは2階席の前列に相当
する席だといえるでしょう。ピアノ・リサイタルや室内楽でも同様です。

2LA



ヴァイオリンの後方からステージを見渡す席であり、テレビの音楽番組
などでおなじみのアングルです。ピアノ・リサイタルの場合は演奏者の
背中側になり、鍵盤と演奏中の腕の動きなどがよくわかります。後方席
ではステージ全体がやや見えづらくなりますのでご注意ください。

2RB



ステージをやや見下ろすアングルで、オーケストラの全楽器をじっくり
と見ることができます。音もダイレクトに届きますので、ステージ奥の
管楽器や打楽器も明快。ピアノ・リサイタルでは演奏者の表情もよく
見え、「聞く」「見る」のバランスがとれたブロックです。

3LA



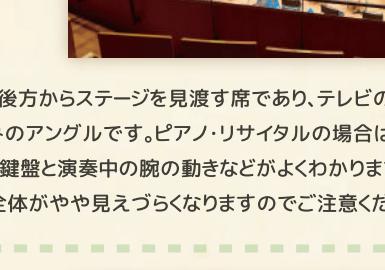
弱音であっても音量が大きいため、
どの席で聞いても豊かな音楽を味わえます。

4C



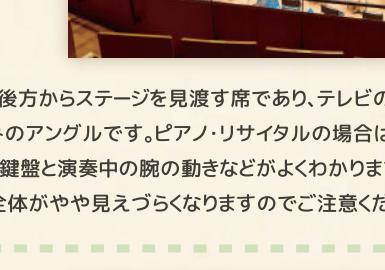
ステージから立ち上ってくる直接音に加え、天井の反響板やすぐ近く
にあるオルガンのパイプに当たった豊かな残響音がブレンダされ、
ふんわりとしたサウンドが味わえるでしょう。視覚的には、目の前に
ある手すりなどでステージの一部が隠れますのでご注意を。

4LB



扇形に広がったオーケストラを俯瞰できるブロックであり、逆サイド
の3RBブロックも同様です。ステージからの音と、反響板に当たって
ホルの壁や天井を伝わってきた残響音がブレンダされ、席へ届き
ます。ステージの一部が見えづらくなりますのでご注意ください。

2P



ステージ後方からオーケストラ全体を見渡せ、自分も楽団に加わった
ような気分を味わえます。目の前の演奏に圧倒される一方、指揮者が
お目当ての方は正面からその姿を見ることができるものポイント。ピアノ
の場合は音が正面席方向へ飛ぶため、響きがソフトになるでしょう。

3LA



高い所が苦手な方は
おすすめしません

4C



高い所が苦手な方は
おすすめしません

2LA



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

2RB



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

3LA



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

4C



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

2P



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

3LA



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

4C



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

2RB



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

3LA



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

4C



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

2P



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

3LA



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

4C



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

2RB



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

3LA



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

4C



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

2P



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

3LA



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

4C



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

2RB



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。

3LA



オーケストラとピアノ・リサイタルについてご説明していますが、ヴァイオリンやチェロなど
器楽のリサイタルや室内楽コンサートの場合、音量がやや小さくなるため、よりステージに
近い席がおすすめです。また歌手(ソロ)や合唱(声楽アンサンブル)の場合は音楽家の
顔が正面を向きますので、センター・ブロックへダイレクトに声が届きます。